

平成 27 年 度 学 校 評 価 実 施 報 告 書

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p><教育課程></p> <p>(1) 生徒一人ひとりが確実に基礎力をつけ、発展的な学習に意欲的に取り組めるよう、カリキュラムを精選する。</p> <p>(2) 国際理解教育を推進し、他者理解を深めることによって、相互に尊重し合える生徒を育成する。</p>	<p>(1) ①少人数編成による英語教育の内容・指導方法について検証・改善する。</p> <p>②生徒が主体的かつ興味・関心を持って取り組める理科の科目の内容の充実を図る。</p> <p>③生徒個々の進路目標に応じた選択科目を適切に配置する。</p> <p>(2) 学年ごとの国際理解講座を充実させ、他者を理解するためのコミュニケーション能力の向上を図る。</p>	<p>(1) ①英語教育の内容・指導方法を検証・改善できたか。</p> <p>②理科の科目の内容を充実できたか。</p> <p>③選択科目を適切に配置することができたか。</p> <p>(2) 国際理解講座をとおして、生徒のコミュニケーション能力が向上したか。</p>	<p>・授業展開の検証から1年次の少人数展開を維持した。</p> <p>・次年度選択科目について生徒・保護者説明会ともに十分な説明をすることが出来た。</p> <p>・体験型や課題解決型のプログラムを計画して学年ごとに段階を踏んだ国際理解講座を実施し、生徒の協調・協働が図られる活動を行った。</p>	<p>・クラス増に伴い時間割作成上の制約が多くなっていることからより効率化を図りたい。</p> <p>・国際理解講座の体系を見直し、3年間を見通して段階的・継続的にキャリア諸能力を向上させるためのプログラムを再構築する。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数展開はぜひ維持してほしい。 ・英語の表現には国際理解教育による異文化理解が必要である。 ・できれば2年でも少人数を続けてほしい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育に関する講座を受けた生徒が自己のキャリアにどのような結び付けができるかが重要である。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の成果でもある英語検定受検者が増加した。 ・科目選択において数名の変更者がでた。 ・国際理解教育講座により生徒の他者理解が進みコミュニケーション能力の向上にもつながった。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの生徒が英語検定を受検するよう指導する。 ・生徒の進路目標に応じた科目選択の指導を徹底する。 ・コミュニケーション能力の向上に関する指標を設け評価する。
<p><生徒指導・支援></p> <p>(1) 組織的な教育相談体制のより一層の活性化を図る。</p> <p>(2) 生徒の自己肯定感や規範意識を高める取組を推進する。</p>	<p>(1) 支援を必要とする生徒に関するケース会議を適切な回数を行うなど活性化を図る。</p> <p>(2) ①生徒の部活動参加意識を高め、部活動をとおして自己肯定感を持たせるとともに、社会性の育成を図る。</p> <p>②服装・頭髪指導の徹底とともに、安全かつマナーを守る自転車乗車指導を継続する。</p> <p>③生徒主体の校内美化、地域清掃活動、節電等への取組を推進し、生徒の環境意識を高める。</p>	<p>(1) ケース会議の開催や規模が適切に行われたか。</p> <p>(2) ①部活動入部率が向上したか。</p> <p>②服装・頭髪指導が徹底できたか、自転車乗車マナーが向上したか。</p> <p>③生徒の環境意識を高める取組ができたか。</p>	<p>・教育相談コーディネーターを中心に積極的にケース会議を開催した。</p> <p>・部活動加入率は昨年同様であるが、アコースティック同好会が部活動に昇格し、新たにハンドメイド研究同好会とマジック同好会が設立された。</p> <p>・定期試験の服装検査や身だしなみ週間等により、指導対象も減少している。</p> <p>・年度後半は近隣住民やドライバーからの指摘もなく、交通社会の一員としての自覚ができてきた。</p> <p>・清掃活動の充実、文化祭のゴミ処理等の実施と共に、節電を呼びかけた。</p> <p>・昨年度に比べ「おそうじ大作戦」への参加者が15%増加した。毎回300名前後の生徒がボランティアとし</p>	<p>・職員の異動などに対応して新たな教育相談コーディネーターの養成が望まれる。</p> <p>・県平均に比較し、運動部の加入率は高いが、文化部の加入率は半分ほどである。今後は新入生オリエンテーションや途中加入を含めて、文化部への加入促進を図る必要がある。</p> <p>・春・秋の服装で、セーターのみでの登校が見られる。ブレザー着用を徹底したい。</p> <p>・校内の駐輪指導が不十分であった。</p> <p>・今後は各委員会活動をより活発にして、環境意識を高めていきたい。</p> <p>・ゴミばさみを新規購入したが、さらに補充する。学校周辺のみならず、通学路</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭髪指導など身だしなみに関して、もう少し厳しくてもよいと思う。 ・自転車通学での2人乗りや駐輪マナーを指導してほしい。 ・入部率向上には、組織観や練習方法などを改善する必要がある。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの来校はもっと多い方がよいだろう。 ・大人からはSNSによるいじめなどが見えにくくなっているのでその把握が必要である。 ・交通安全や薬物乱用防止について啓発が必要である。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談に関する職員研修を実施し適切な生徒対応に生かされた。 ・通学途中でのマナー違反や学校周辺での部活動時に地域の方に迷惑をかけることがあった。 ・ボランティア活動に参加する生徒が増えた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制をさらに充実させ支援を必要とする生徒のニーズにこたえる。 ・ルールやマナーに対する指導を徹底する。 ・さまざまなボランティア活動を紹介し生徒の活動の場を増やす。

			て参加している。	や近隣にまで範囲を広げることも検討する。		
<p><学習指導・授業改善></p> <p>組織的な授業改善を推進し、生徒の基礎学力の定着を図るとともに、学力向上の喜びを味わわせる。</p>	<p>①基礎学力の定着を図り、家庭学習の習慣を身に付けさせるために、小テストを実施するとともに宿題等を活用する。</p> <p>②言語活動のより一層の充実を図り、校内授業研究体制を整備する。</p> <p>③共通テスト未実施の教科において共通テストの導入に取り組む。</p>	<p>①生徒アンケート等から基礎学力の定着や家庭学習の習慣が読み取れたか。</p> <p>②校内授業研究体制が整備できたか。</p> <p>③共通テストの導入に取り組めたか。</p>	<p>・教科との連絡調整を図り各教科ごとに学力向上へ取り組んだ。</p> <p>・定期試験ごとに教科会を設定した。</p> <p>・教科会の定例化をもとに教科内での合意形成を促した。</p>	<p>・この取組を維持できるよう連絡調整を密にとりたいたい。</p> <p>・授業改善等のために時間割の中に教科会を設定できるよう努力したい。</p> <p>・教科内での十分な話し合いをもとに連絡調整が必要であると認識している。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・生徒による授業評価ではぜひ無記名で実施してほしい。</p> <p>・生徒が楽しめる授業を工夫してほしい。</p> <p>・先生方それぞれの特徴ある授業とともに、授業内容が教員間で差が少なくなることを希望する。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・アクティブラーニングなどを取り入れ、どの科目の授業でも生徒同士が話し合う機会を増やすとよい。</p> <p>・生徒による授業評価では記名と無記名ではその内容が変化するのではないか。</p> <p>・英語の少人数展開に加えてリスニング対策も充実するとよい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・アクティブラーニングを取り入れた授業が増え授業改善が進んだ。</p> <p>・校内授業研究への取組は不十分であった。</p> <p>・共通テスト実施に対する取組が進んだ。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・授業改善をさらに促進すべく授業研究の開催方法を工夫し実施する。</p> <p>・次年度共通テストを実施する。</p>
<p><キャリア教育></p> <p>学年ごとの発達段階に応じた進路支援活動を充実させる。</p>	<p>①学年ごとの進路支援体制を充実させ、学年・担任により的確な進路情報を生徒に提供し、進学実績の向上を目指す。</p> <p>②自ら将来設計ができる生徒・自立した学習者を育成するために、きめ細やかな面談を行うなど職員による動機付け・意識付けを徹底する。</p> <p>③本校生徒の実状にあったキャリア教育実践プログラムを策定する。</p>	<p>①的確な進路情報を生徒に提供できたか、進学実績が向上したか。</p> <p>②面談の取組が動機付け・意識付けに結びついたか。</p> <p>③適切なキャリア教育実践プログラムが策定できたか。</p>	<p>・生徒のニーズに即した進路ガイダンスにより前向きな姿勢を醸成し適切な資料提供ができた。</p> <p>・学力到達度テストなどの結果をもとに、キャリアカウンセリングを実施した。</p> <p>・学年ごとの年間指導計画を作成できた。</p>	<p>・生徒の進路希望をより一層確実に実現するために新たな企画を検討する時期にきている。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・進路希望に適した科目選択の指導を徹底してほしい。</p> <p>・生徒の意欲を高めるキャリア教育を実施してほしい。</p> <p>・選挙権が18歳になったことから自立した思考力の指導を願う。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・大学に入りやすくなり、入学後のミスマッチがないように高大の連携や工夫が必要であると感じる。</p> <p>・入試の学校推薦に関して生徒の個人情報の管理は十分であるか。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・数値的な進路実績ではなく生徒の希望に沿った進路実績は向上した。</p> <p>・各学年に関する進路ガイダンスを計画どおり実施できた。</p> <p>・各担任が実施した面談に対する評価が不十分である。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・より一層の面談を実施し生徒の意欲の向上と進路実績の向上につなげる。</p>

<p><地域等連携></p> <p>保護者・地域・他校種との連携を図り、開かれた、親しみやすい学校づくりを進める。</p>	<p>①地域の防災体制の情報を収集し、地域と合同の防災訓練の実施に取り組む。</p> <p>②学校行事や地域清掃活動等とおして、分教室や地域の小中学校との連携・交流を推進する。</p> <p>③同窓会との連携を深めることによって、地域に密着した学校づくりを推進する。</p>	<p>①地域と合同の防災訓練が実施できたか。</p> <p>②分教室や地域の小中学校との連携・交流ができたか。</p> <p>③同窓会との連携が深められたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は本校の位置する町会の防災訓練は実施されなかったため、参加できなかった。 ・DIG（図上災害訓練）で川崎市と連携した。 ・昨年に引き続き、刈宿小学校で2年生を対象に非行防止教室を実施した。 ・文化祭では昨年度に比べ4割増の来場者があり、生徒のアンケート評価も高かった。 ・文化祭と体育祭で分教室との交流を深めた。 ・同窓会とは昨年度よりも連携を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施年には、確実に参加するようにしたい。消防署等との連携も深めて行きたい。 ・マルチメディア部（演劇）が実施しているが、現1年の部員が少ないため、有志等柔軟な対応が必要な場合がある。 ・チアリーディング部やマルチメディア部などは小学校と交流があるので、他の団体も交流の範囲を広げていきたい。 ・今後も周年行事の実施や教育活動への協力も含めて、連携を高めて行くことが必要である。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣小・中学校と連携した防災訓練など交流を深めるとよい。 ・年に1回でもよいのでPTAや地域の方との交流の機会があるとよい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店街の催事に高校生に参加してもらいたい。 ・近隣の小学4年生を対象にした安全教室に、これまでの大学生に代わって高校生の協力を要請したい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な地域との連携は不十分であった。 ・分教室や近隣小・中学校と学校行事や部活動をおして交流することができた。 ・同窓会との連携も深まり同窓会入会者も増えた。 ・DIGにより川崎市と連携するとともに生徒が地域を知る良い機会となった。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等で近隣町内会との連携を深める。
<p><学校運営・学校管理></p> <p>(1)非常時に対応できる防災教育や防災訓練への取組をおして、生徒・職員の防災意識を高める。</p> <p>(2)職員一人ひとりが事故・不祥事を根絶できるよう意識改革に努める。</p>	<p>(1)地域との連携や内容の工夫等の防災訓練を充実させ、非常時に対応できる訓練を実施する。</p> <p>(2)①若手教員の人材育成を目的に組織的に研修会等を実施し、教員としてのモラルや心構え等について意識啓発を行う。</p> <p>②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修を実施し、事故・不祥事の根絶に努める。</p> <p>③直近の事例を常時情報提供することによって、誰にでも起こりうることだと職員に認識させる。</p>	<p>(1)新たな防災訓練の取組が実施できたか。</p> <p>(2)①若手教員向けの研修会が実施できたか。</p> <p>②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修が実施できたか。</p> <p>③直近の事例を情報提供できたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行う防災訓練の充実に加えて、生徒参加のDIG（図上災害訓練）を年度末に実施することができた。 ・校長による若手職員研修を2日間開催し効果をあげた。 ・校長による職員面談の際に、一人ひとりに注意を促し、全員に不祥事防止について指導した。 ・定例職員会議の際に、事例等をあげて研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波等の自然災害に対する生徒の防災意識を一層高めるとともに、川崎市等の行政機関とも連携を深めて、訓練のより一層の充実を図る。 ・より一層の不祥事防止研修等を実施する。 	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事に対する学校側の対応が不十分であると感じる。 ・負の部分の事実を職員が共有し意識の改善ができる体制を確立してほしい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に防災訓練で連携できる町内があるので働きかけるとよい。 ・高齢化が進む自治体では災害時における高校生の活躍が期待されている。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣町内会との防災訓練は実施できなかった。 ・生徒の新たな取り組みとしてDIGを実施できた。 ・事故につながる事案があった。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣町内会との連携を深め防災訓練を実施する。 ・DIGに参加する生徒を増やし地域との連携と防災意識の向上を目指す。 ・事故不祥事ゼロをめざし一層の意識向上を図る。